

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和三年二月度 入選句（投稿総数二千二百二十三句・小中学投句数千六百十九句）

特選

おてがみもはいっていたよお年玉 大垣市 市川 椋（小二）

「お年玉」を季語とした俳句は数多く詠まれています。一年に一度のお年玉を楽しみにしているのでしょうか。作者がわくわくしながら袋をあけるところが浮かびます。すると手紙が出てきたのですからびつくりしたことでしょう。お金にはかえられないくらいの大切なお手紙をもらった作者の静かな喜びが伝わってきます。心に響く温かい一句です。

かくれんぼいきしろくでてみつけたよ 大垣市 富田 梨央（小二）

どこでかくれんぼをしたのでしょうか。寒い中、見つからないように物陰にじっとかくれていた友だちの白い息がすーっと現れて見つけることができたのでしょうか。「息白く」は冬の季語で、冬のかくれんぼの楽しさが伝わってきます。思わず「やったあ」と叫びたくなるような喜びが「いきしろくでて」の中七からわかります。笑顔になれる楽しい一句です。

たけうまでどんどんあるくひとやすみ 大垣市 山田 とうり（小二）

竹馬は冬の遊びと言われています。雪が降った時に足の位置を高くした竹を二本使って歩いていたことが転じて、今は遊びの一つとなっています。リズムよく歩を運び少しでも長く歩こうと一生懸命に練習する作者の頑張る姿が浮かびます。ひと休みしてまた練習するのでしよう。「どんどんあるく」の中七にやる気が感じられる元気な一句です。

秀逸

つららがねとけてぼたぼたみずたまり 大垣市 牛田 千ひろ（小二）

冬のはえしようじが一番お気に入り 大垣市 佐々木 海知（小三）

けらけらと笑いが止まらぬふくわらい 大垣市 有尾 優輝（小四）

転がって大人になるぞ雪だるま 大垣市 土井 マヌエラ（小六）

ながぐつが雪にうもれてひっこぬく 大垣市 大倉 心響（小六）

おせちはねいろんなおもいつめてある 大垣市 前田 たまみ（小二）

ぬくもりを感じる祖母の編むセーター 加茂郡川辺町 木下 和奏（中三）

いよいよと覚悟の入試ペン握る 加茂郡川辺町 松下 慶大（中三）

風車風にぶつかり回ってる 大垣市 菅 慶多（小四）

残る雪くつあとたくさんつけてみた 大垣市 竹下 裕菜（小五）

入選

年がじよう新しいともだちできたんだ 大垣市 坂 ひまり(小二)
 ふくわらいとなりのひとがわらってる 大垣市 安田 蒼生(小二)
 妹となわとびしてね負けちゃった 大垣市 ごとう あやの(小三)
 朝起きてストープとるよぼくとねこ 大垣市 不破 おうすけ(小三)
 ねんがじようおくれてみんなにあいさつだ 大垣市 小松 壮助(小四)
 こままわしせーのでまわすかてるかな 大垣市 日比 椛鈴(小四)
 かがみもち自分の部屋にかざったよ 大垣市 大橋 一路(小四)
 寒い中でできた友達ゆきだるま 大垣市 高橋 有為子(小四)
 いきあわせ力いっぱいもちついた 大垣市 渡邊 旬之介(小六)
 鬼ごっこ類にあたった冬の風 大垣市 川瀬 心晴(小六)

入選

年のせに白く染まる大垣城 大垣市 後藤 愁(小六)
 父さんと二人で野球冬の昼 大垣市 横川 海瑠(小六)
 ゆきだるまたかくつみすぎたおれちやう 大垣市 いとう えいすけ(小二)
 雪がふる日ずつとふってねつもるまで 大垣市 セストリックえり(小二)
 まいおりるふわりふわりと雪がふる 大垣市 吉田 伊吹(小四)
 雪の中小さな足跡つづいてく 大垣市 加茂郡川辺町 田原 寧々(中一)
 ヒナギクの花言葉はね夢の実現 大垣市 加茂郡川辺町 酒向 はなり(中三)
 高速でなわを回して二重とび 大垣市 高橋 怜生(小四)
 もこもこのその服いいね冬すずめ 大垣市 原 志 織(小四)
 通学路桜の道に一歩出す 大垣市 明石 紗和(小五)

選者吟

卒業生校歌心で斉唱す 佐知子